

脳腫瘍

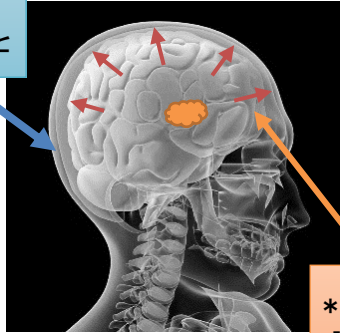


子ども達に「勇気、夢として笑顔」を

脳腫瘍とは

ずがい
頭蓋内に発生する腫瘍で、良性のものや悪性のもの
があります。脳腫瘍は、脳の細胞からだけでなく、
こうまく
硬膜・クモ膜*、血管や末梢神経、その他の頭蓋内の
まっしょうしんけい
様々な組織から発生します。

* 硬膜・くも膜：
脳を覆っている膜のこと



* 2 脳圧の亢進：
脳内の圧力が高まること

【症状】

腫瘍が頭蓋内を占拠するため、脳圧が亢進*2し、
頭痛や嘔吐などの症状が出現します。

腫瘍ができた脳の場所により、
身体の麻痺やしびれ・痛みなどの
感覚異常が出たり、
ホルモン分泌異常を
きたしたりします。



【診断】

頭部 CT・MRI などの画像検査によって診断されます。

詳しい脳腫瘍の分類は、摘出された腫瘍^{しゅよう}を組織学的に診断する事によって確定されます。脳腫瘍の種類によっては、血液検査^{けつえき}や髄液検査で診断される事もあります。



◀脳腫瘍の MRI : 小脳内^{せうにん}にのう胞性(液体成分のある)腫瘍があります。

【治療】

脳腫瘍の種類や発生した場所、その大きさにより治療方針が決まります。

摘出^{てきしゅつ}手術、放射線による治療、薬(いわゆる抗がん剤)による治療などが行われます。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪母子医療センター

<脳神経外科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605

2017.4.改訂